

提出順	/	発言順	/	令和 3 年 // 月 / 2 日 午前 午後 8 時 3 分受領
-----	---	-----	---	--------------------------------------

(今枚中 No. /)

2021年11月12日

安曇野市議会議長 平林 明 様

安曇野市議会議員

臼井 泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	安全な通学路の整備について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- 1 市長の選挙公約には、「児童生徒の通学路の安全を点検し、確保します」とある。交通量の多い歩道のない道路など危険な通学路を子どもが毎日利用し、保護者や地域の方々が子どもの交通事故を心配している。このような状況が何十年も前から続いている道路もあることをどう認識し、どのようにしようと考えているか。
- 2 前回の市道路整備推進計画が出されたH27年からの7年間に、また、県道と市道の歩道が整備された通学路は何本あり、何kmになり、どれくらいの予算がつぎ込まれたのか。またそれは、通学路の歩道整備計画全体の何%か。
- 3 生活道路の歩道整備、とりわけ通学路の歩道整備は、松糸道路以上に優先すべき課題と考えるが、見解を伺う。

提出順	/	発言順	/	令和 3年//月/日 午前・午後 8時3分受領
-----	---	-----	---	----------------------------

(枚中No. 2)

2021年11月12日

安曇野市議会議長 平林 明 様

安曇野市議会議員

白井 泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	学校給食センターについて		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- 1 市長の選挙公約には、「農業の現場からの加工、調理、給食を教育の一環としてとらえる『安曇野型食育』を構築します」とある。この『安曇野型食育』とは、こども園、幼稚園、小・中学校の子どもにとってどのような食育なのか。
- 2 教育委員会は、経費節減のために自校方式的な給食センターである堀金学校給食センターを廃止し、3センターに統合する考えで進めている。この方向は市長公約の「安曇野型食育」と整合性がとれるのか。

提出順	/	発言順	/	令和3年//月//日 午前 午後 8 時 分受領
-----	---	-----	---	-----------------------------

(4 枚中 No. 3)

2021年11月12日

安曇野市議会議長 平林 明 様

安曇野市議会議員 白井 泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	<input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	新型コロナウイルス感染症対策		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- 1 市長は選挙公約で新型コロナウイルス感染症の感染抑止策について触れてない。第6波を起こさず、安心して社会経済活動ができるようにするために、市民や観光客が「いつでも、誰でも、何度でも、無料で」PCR検査を受けることのできるような検査体制を整えること、とりわけ医療・介護・教育・保育などの従事者が検査を定期的に受けられるようすることを国や県に強く働きかけることを要望するとともに、市独自でもPCR検査を実施することを要望するが、見解を伺う。

提出順	/	発言順	/	令和3年1月12日 午前・午後 8時31分受領
-----	---	-----	---	----------------------------

(4枚中No.4)

2021年11月12日

安曇野市議会議長 平林 明 様

安曇野市議会議員

臼井 泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	公共交通について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- 1 市長の選挙公約には、「市民の足・交通利便性の確保を図ります」とある。デマンド「あづみん」の利便性向上とともに、コミュニティ方式による市内巡回バスの運行を一体的に検討すべきと考えるが、見解を伺う。
- 2 デマンド「あづみん」のロケーションシステムの導入など利便性向上の検討の進捗状況を伺う。
- 3 「あづみん」の乗り継ぎ料金をなくし片道定額料金とするとともに、隣接地域に乗り継ぎなしに行けるようにすることを提案するが、見解を伺う。